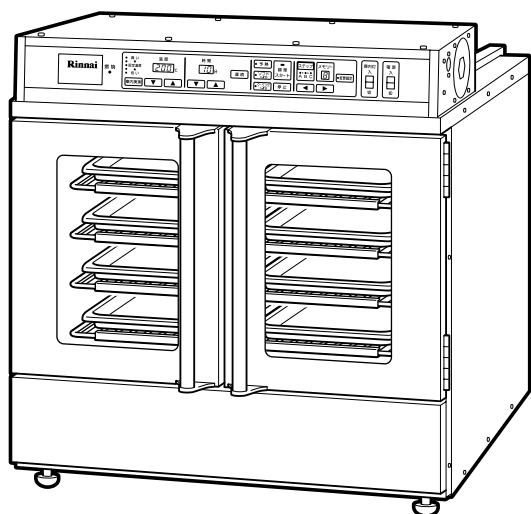
リンナイ
ガス高速オーブン〈コンベック〉 業務用

Rinnai

形式の呼び　RCK-30MA

取扱説明書

もくじ

ご愛用の皆様へ

このたびは、ガス高速オーブン〈コンベック〉をお買い上げいただきましてありがとうございました。

- ●ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- ●本製品は業務用として作られています。
- ●使用者が代わった場合には、必ずこの取扱説明書を読んでいただき、かつ指導してください。
- ●本製品は国内専用です。海外では使用できません。
- ●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店または当社事業所に連絡して再購入してください。
- ●この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

1 安全上のご注意 必ずお守りください

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表　示	意　　味
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です

 感電注意
 高温注意

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です

 火気禁止
 接触禁止
 水ぬれ禁止
 分解禁止
 ぬれ手禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です

 電源プラグをコンセントから抜く
 アース線を必ず接続する
 換気必要

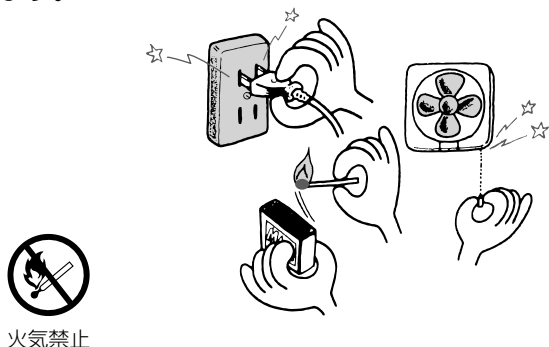
⚠危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入／切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

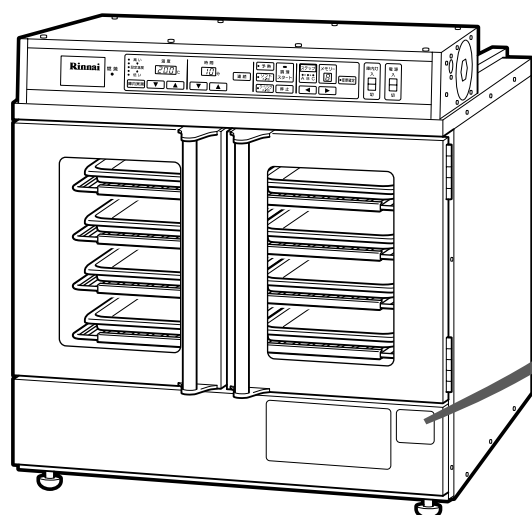
■ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する

①ガス栓（ねじガス栓）を閉める。
②窓や戸を開けガスを外に出す。
③外に出てもよりのガス事業者（供給業者）へ連絡する。

⚠警告

■必ず銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）を使用する

■転居されたときも供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する

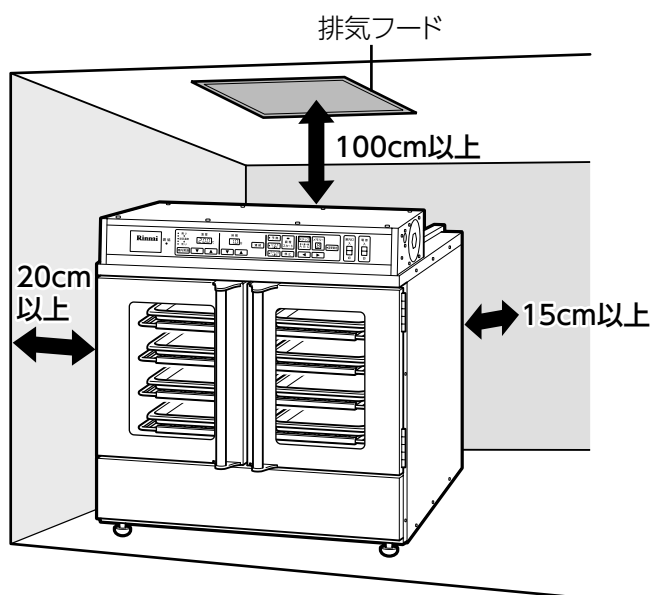
■使用電源の電圧が銘板の表示と一致していることを確認する

使用ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをすることがあります。
使用電源の電圧と一致していない場合、そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
また、故障の原因にもなります。
銘板は機器本体の正面下部に貼ってあります。使用ガスがわからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者にご相談ください。

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められています。必ず守ってください。
距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けてご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

■機器を設置した後、周辺の改造をしない

吊り戸棚などをつけた場合、可燃物との距離が守れなくなり、不完全燃焼や火災になることがあります。

※詳しくは、8ページを参照してください。

⚠警告

■火をつけたまま機器から離れない、就寝・外出をしない

火災、機器焼損の原因になります。
電話や来客の場合は、いったん止めてください。
調理中のものが異常過熱して火災になる場合があります。

■燃えやすいものを近くに置かない

■スプレー缶など可燃性ガスを近くで使用しない、置かない

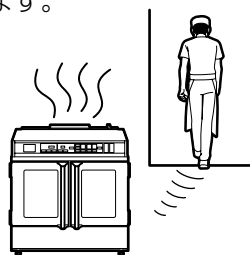
カーテン・スプレー缶など燃えやすいものを近づけたり、スプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ガソリン・ベンジン・油など引火のおそれのあるものを近くに置いたり、使用しない。
火災・爆発をおこすことがあります。

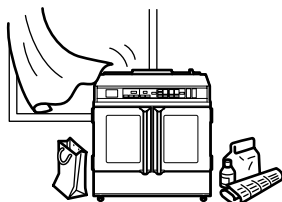
■排気口をふさがない

排気口の上をタオル・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。

■幼いお子様にはさわらせない

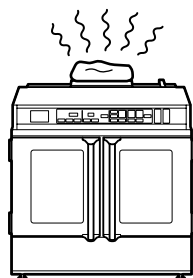
けがややけどをするおそれがあります。

■たこ足配線はしない

■使用後は必ず消火を確認する

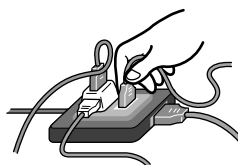
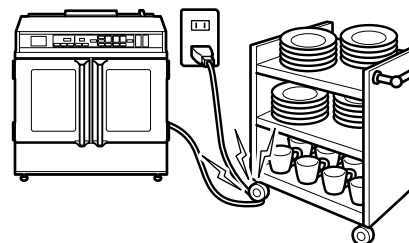
使用後は必ず消火を確認してください。就寝・外出時はガス栓(ねじガス栓)も閉めてください。

■傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない

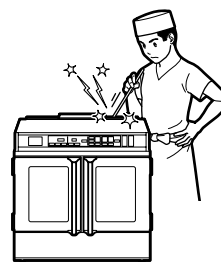
感電、火災の原因になります。

■電源コードを加工したり、無理な力を加えたり、物をのせたり、たばねたりしない

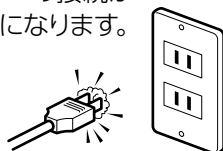
感電・火災の原因になります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

ぬれ手禁止

■電源コードに重いものを載せたり、無理な力を加えない　また、機器の下をはわせたり挟んだりしない

■排気口やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない

感電や異常動作してけがをすることがあります。

⚠警告

■電源プラグにほこりが付着していないか確認し、プラグの根元までしっかりコンセントに差し込む

ほこりが付着していたり､コンセントへの接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

■異常時の処置

地震、火災、点火しない場合、使用中に異常な燃焼・臭気・異常音を感じた場合、途中消火した場合は、すぐに使用を中止し､電源プラグを抜き､ガス栓（ねじガス栓）を閉めてください。「故障や異常の見分け方と処置方法」（23 ページ）を参照ください。

■庫内の食品が燃え出したときは、使用を中止する

①オーブン扉は開けないでください。
②停止スイッチを押し、運転を止めてから、ガス栓（ねじガス栓）を閉め、電源プラグを抜いてください。
③機器から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待ってください。鎮火しないときは、水か消火器で消火してください。
④そのまま使用せず、点検を依頼してください。

■機器に手を加えない

お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない。ガス漏れや火災の原因になるおそれがあります。万一故障と思われた時は23 ページを参照してください。

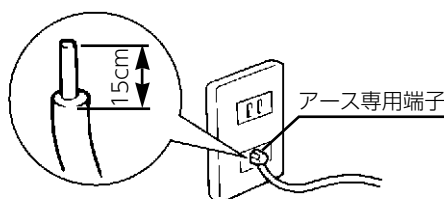
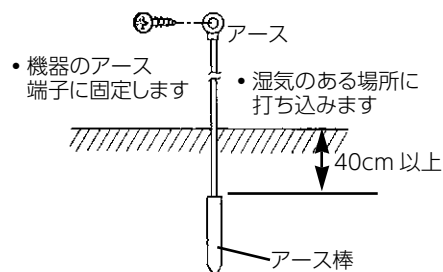
分解禁止

■ガス接続には専門の資格・技術が必要です

機器の設置・移動・買い替えの際には、必ずお買い上げの販売店またはもよりの当社にご連絡ください。

■アースは必ず取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

- アース端子付コンセントがある場合
  コンセントに、アース専用端子が設けられている場合は、アース線先端の皮をむき芯線（銅線）をアース端子に固定します。

- アース端子付コンセントがない場合
  アース棒(別売）によるアース工事を行ってください。アース工事は必ず電気工事店に依頼してください。水道管やガス管、電話専用のアース線へ機器のアースを絶対取り付けないでください。

- 湿気や水気のある場所でお使いになる場合
  必ず D 種接地工事（接地抵抗 100 Ω以下）をするよう法律で義務づけられています。必ず、電気工事店に依頼して取り付けてください。
  ①湿気の多い場所
  例 ● 食堂（うどん屋さん､そば屋さんなど）のかま場
  　 ● 土間、コンクリート床の場所
  　 ● 酒、しょうゆなどの醸造・貯蔵庫など
  ②水気のある場所※
  例 ● 魚屋さん、八百屋さんの洗い場など、水を扱う場所
  　 ● 水滴が飛散する場所
  　 ● 地下室のように水が漏出したり結露する場所
  　 ※この場合は、漏電遮断機の取り付けも必要です。

アースを必ず接続する

⚠注意

■使用中は換気をする

使用場所の換気口（給気口・排気口）は常に確保し、物などでふさがないでください。また、機器上方に必ず排気フード付排気筒を設け、ご使用と同時に必ず換気をしてください。換気をしないと一酸化炭素中毒の原因になります。

換気必要

■オーブン扉に物をはさんだまま使用しない

熱気漏れによってこんろ部と器具栓つまみなどが熱変形することがあります。

■指定以外の調理用具は使わない

調理用具は、付属品および指定品を使用してください。調理用具が燃えたり破損することがあります。

■オーブン皿・オーブン棚網の出し入れは、付属のオーブン皿取っ手または布ホルダー以外を使わない

ぬれふきんなどで持つと、やけどをすることがあります。

■強い風の吹き込む場所や機器本体後方から風が吹き込む場所では使用しない

機器内部を焼損したり、安全装置が正しくはたらかなかったり、点火不良となることがあります。

扇風機や冷暖房機器を使用される場合、風・排気ガスが直接この機器に当たらないようにしてください。

■点火操作を繰り返すときは周囲にガスがなくなるまで待つ

たまったガスに着火し、やけどの原因になります。

■水のかかるところでは使用しない

水ぬれ禁止

感電や漏電の原因になります。

■調理以外に使わない

衣類の乾燥などをしない。火災や機器焼損の原因になります。

■オーブン扉ガラスに衝撃を加えない・傷をつけない

■使用中、使用直後に水をかけない

ガラスが割れて、けがややけどの原因になります。

■調理物の出し入れ時、オーブン扉・ガラスなどに触れない

オーブン使用時、オーブン扉・ガラス・オーブン皿・オーブン庫内などは高温となります。調理物を取り出す際は手や腕などが触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。

接触禁止

調理物の取り出しは付属のオーブン皿取っ手をお使いください。

高温

■やけどに注意

使用中、使用直後は操作パネル、取っ手以外は高温です。防熱板を取り付けた場合、防熱板も高温になります。

接触禁止

さわらないでください。

■お手入れするときは、専用電源回路のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜き、ガス栓（ねじガス栓）を閉め、本体が冷えてから手袋などをはめて行う

やけど、感電、けがをすることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

⚠注意

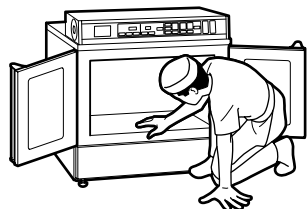
■**オーブン扉に無理な力を加えない**

機器が倒れたり、熱気漏れの原因になります。

■**車両、船舶での使用はしない**

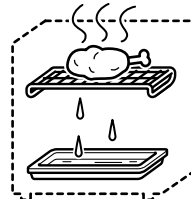
また、使用中に機器が傾いたりし火災ややけどの原因になります。

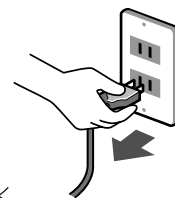
■**庫内に不要なものがないことを確かめる**

オーブン庫内に食品くずやふきんなどがあると使用中に発火するおそれがあります。

■**丈夫で水平な場所に設置する**

不安定で傾いたところに設置すると、機器が転倒したりすべり落ちたりして、けがややけどをするおそれがあります。

■**オーブン皿・オーブン庫内が汚れたまま使わない**

食品や肉汁などで汚れたままの庫内や、オーブン皿に脂がたまったまま使用しないでください。脂が燃えて火災の原因になります。

■**長期間ご使用にならないときはガス栓（ねじガス栓）を閉め、電源プラグをコンセントから抜く**

ガス栓（ねじガス栓）やコンセントは下部扉内にあります。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

■**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たない**

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードが損傷し、感電や火災の原因となります。

気をつけていただきたいこと

■**使用中、ガス栓（ねじガス栓）を操作しての消火はしないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。**

■**雷時には専用電源回路のブレーカーを切る。または、電源プラグを抜く。**

雷が発生したときは、機器の使用を中止し、専用電源回路のブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

■**オーブン皿などの付属品はオーブン調理以外に使用しないでください。**

直火にかけたりすると変形・変色の原因になります。

■**オーブン使用時、燃焼表示の点灯・消灯で点火・消火を確認してください。**

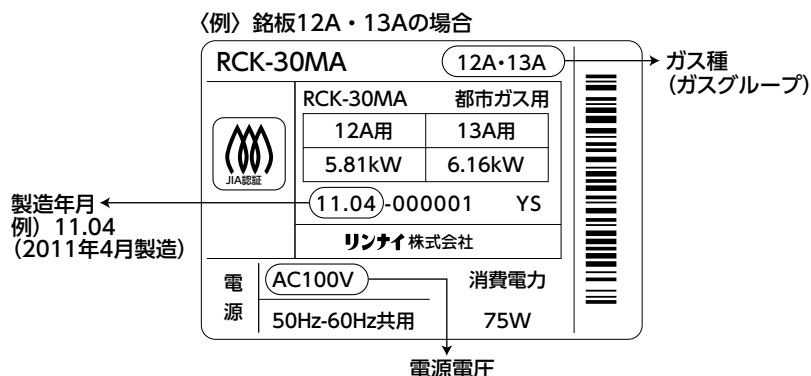
■**この機器は業務用として作られています。一般家庭用には使用しないでください。**

■**使用者が代わった場合には、必ずこの取扱説明書を読んで頂き内容をよく理解してからお使いください。**

2 お使いになる前に

●使用前の確認

使用ガス・使用電源を確認する

- 機器本体の正面下部に張り付けている銘板に表示しているガスの種類と使用するガスが一致していることを確かめてください。
- 電源は交流 100V を使用してください。
  銘板に表示している電源の種類と使用する電源が一致していることを確かめてください。

ガス・電気接続および設置を確認する

■ガス栓

- 専用のガス栓を設けてください。
- 機器を使用する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても位置や寸法などが適切でない場合は、ガス栓の新設・移設、または交換などが必要ですので、お買い上げの販売店またはガス事業者にご相談ください。
- 特定地下街等に機器を設置する場合は過流出安全機構（ヒューズコック）を内蔵するガス栓が必要ですからガス事業者にご相談ください。

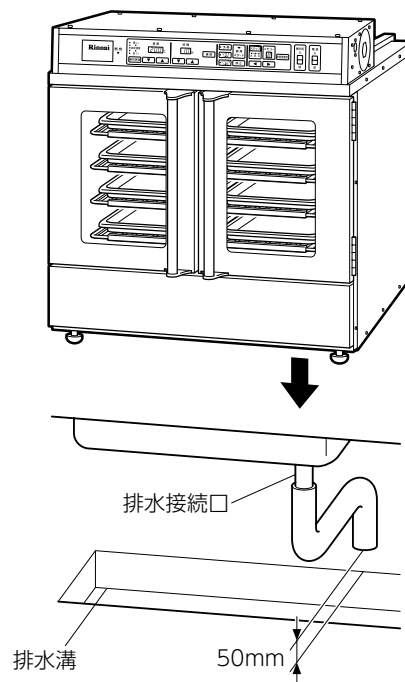
■ガス接続

- ガス接続口径は 20A (R3 ／4) です。
- 機器とガス栓の間には、必ずユニオン継手を取り付けてください。
- ガス配管・接続工事は専門の資格・技術が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。

■電気接続

- 電源コンセント：機器を設置する場所に電源コンセントがない場合、あるいはあっても適切でない場合は新設・移設、または交換などが必要です。なお、電源コードの長さは約 2m です。機器後面下部に接続されている電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ア ー ス 接 続：機器後面下部のアース端子に接続してください。

■排水接続

- 機器右下の排水接続口 R3 ／ 4 ねじに排水工事をしてください。
  排水管の先端は溝に差し込まないで 50mm ほど離してください。機器の下は水が掛かりますので物を置くことは避けてください。
  接続時工具は 2 本使用して排水接続口に荷重が掛かり過ぎないようにしてください。

■設置場所を確認する

安定性がよく水平なところ

不安定なところ、風のあたるところでは使用しないでください。

落下物の心配のないところ

棚の下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。

機器の上に落ちたものが燃えて、火災になることがあります。

カーテンやスプレー缶など燃えやすいものがないところ

カーテンや燃えやすいものの近くでは使用しないでください。使用中に近くのものが燃えて、火災になることがあります。

耐久性などの点から湿気の少ないところに設置してください

換気（給気・排気）が十分できる所に設置してください
また、ご使用と同時に換気をしてください

しめきった場所で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

換気必要

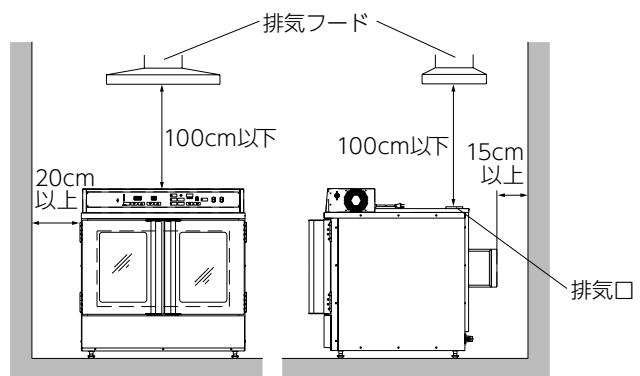
■可燃物との離隔距離および周囲の防火措置を確認する

- 火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス鋼板などを直接張り付けた場合でも可燃物と同様の距離が必要です。

- 機器を設置した後、機器の周囲の改造をしないでください。（例えば、周囲を囲ったり、吊り戸棚をつけるなど）設置基準上問題となる場合があり、また不完全燃焼や火災の原因になる場合があります。

- 床面は不燃構造にしてください。

●機器周囲の壁などが木材のような可燃物の場合

- 壁から側面は20cm 以上、後面は15cm 以上必ず離してください。機器の上方には必ず排気フード付排気筒を設けてください。
  ※排気フード形状・送風機能力等は「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」の数式により決定してください。

●機器周囲が可燃物の壁より、側面は20cm以上、後面は15cm以上離せない場合

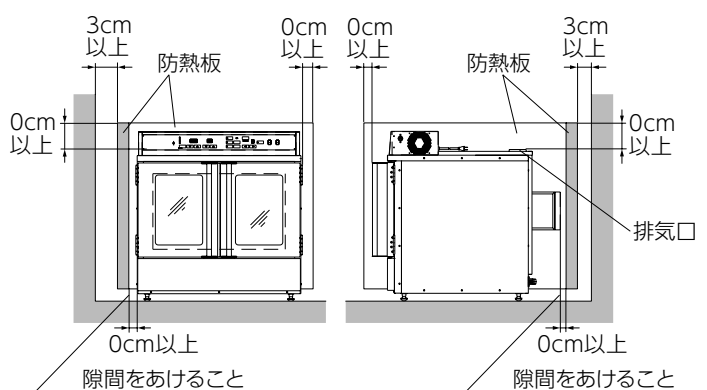
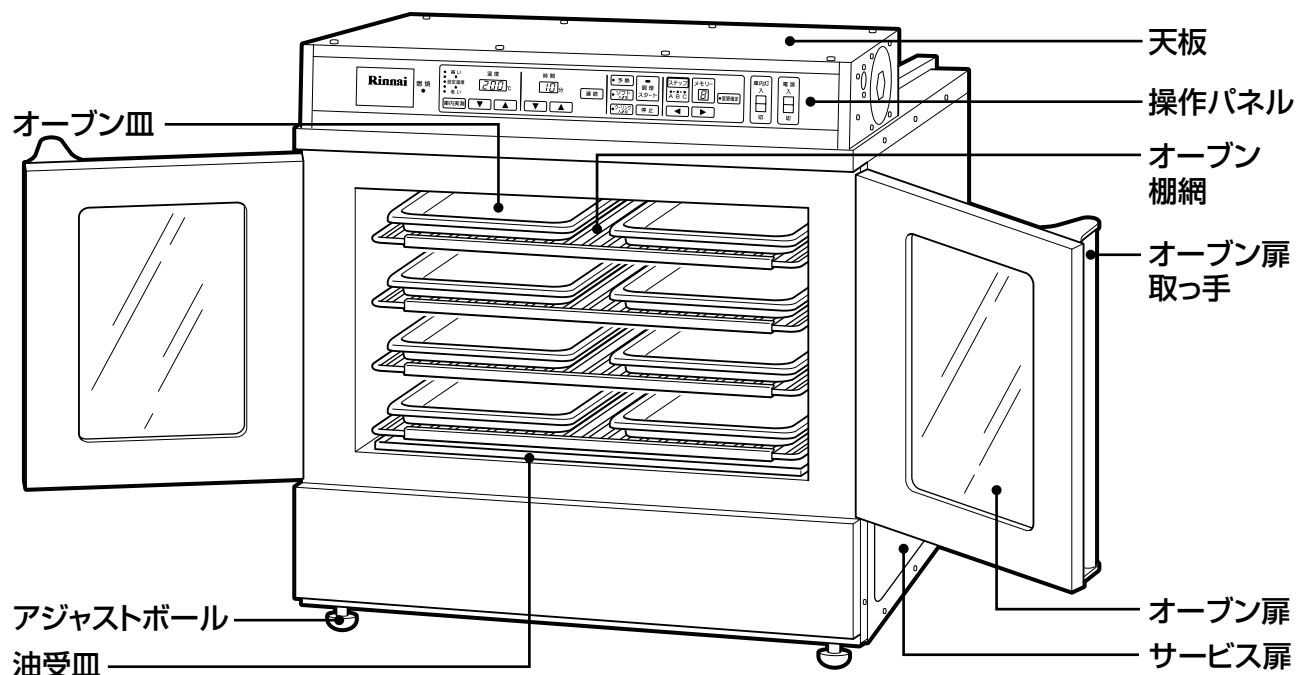
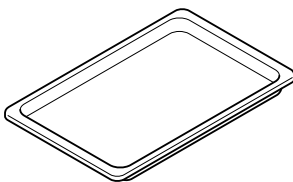
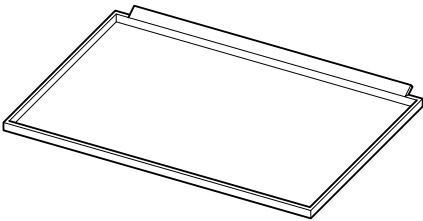
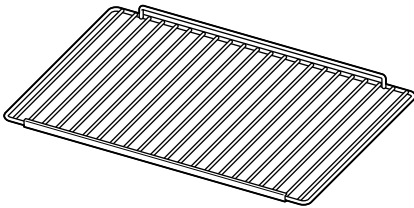
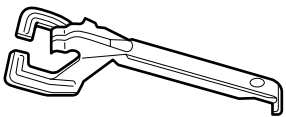
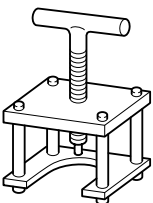
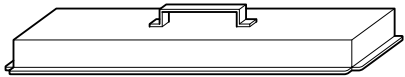
- 下図のような防熱板を取り付けてください。

※防熱板について

材　質	厚　さ	ご　注　意
鋼　板	0.6mm以上	3cm以上の空間をとり、有害な変形のないよう補強してください。
ステンレス鋼　板	0.6mm以上	

●各部の名称

■本体

■付属品

品名	数量
オーブン皿	8 枚
油受皿	1 枚
オーブン棚網	4 枚
オーブン皿取っ手	1 個
ファン抜き金具	1 個
排気口蓋	1 個

オーブン調理のポイント

■オーブン皿を入れるたなは４段あります。料理材料の量、高さなど種類によって適当に使い分けてください。１段のみの場合は中段を使用してください。

■ご使用後、ファンフィルターは、中性洗剤などできれいに洗ってください。汚れたまま使用されますと、庫内温度分布のムラにより、料理のでき上りが片寄る場合があります。

■食品はできるだけオーブン皿に均一に置いてください。１ヵ所に片寄るとオーブン皿が歪んだり、焼きむらの原因になります。

■調理中はなるべく扉を開けないようにしてください。扉を開けるとオーブン庫内温度が急激に下がり、せっかくの料理をだいなしにすることがあります。

■調理途中の料理の出し入れはすみやかに行なってください。たれをぬるときは一度庫内から出し、扉を閉めてからぬり再び庫内に入れるようにします。

■調理後、庫内は保温に使用できますが、長すぎますとできたての風味が損なわれることがあります。

■料理の形や、種類によりこげ目に差が生じることがあります。また、たな位置によっても差が出ます。調理途中にオーブン皿のたな位置や前後を入れかえてください。例えばバターロールなどのように山の形になっているものなどは、熱風がよく当たる側が早く焼けます。

■オーブン皿の出し入れは必ずオーブン皿取っ手、または布ホルダーをお使いください。ぬれふきんを使うと蒸気が出てやけどをすることがありますので、布ホルダーを使うときは必ず乾いたものを使ってください。

■容器は付属のオーブン皿や市販のオーブン料理用金属容器以外は、超耐熱性のガラス容器か耐熱性の陶磁器をお使いください。プラスチック、紙などの容器およびラップ類は絶対に使用しないでください。溶けたり、燃えたりすることがあります。

■ケーキなどの調理は調理物の形状によって、熱風の影響を受けやすくなり焼きムラや型くずれが発生する場合があります。

■茶碗蒸し、プリンなどの温度差に敏感な調理物は『ス』（気泡のあと）が入ることがあります。

⚠注意

オーブン庫内に飛び散った脂は常に取り除いてください。

とり、焼肉などの脂の多く出る料理を連続して調理する場合は、脂が燃え火災になるおそれがありますのでオーブン庫内の脂を常に取り除くようにしてください。

■操作パネル部

予熱スイッチ

予熱運転の時、押してください

庫内温度目安ランプ

設定温度と庫内温度の差を表示します

高　い：設定温度より高い場合に点灯

↓：設定温度より少し高い場合に点灯

設定温度：設定温度付近で温調している時、点灯

↑：設定温度より少し低い場合に点灯

低　い：設定温度より低い場合に点灯

時間表示部

設定した調理時間を表示し、調理運転開始後、残り時間を表示します

予熱ランプ

予熱運転時、点灯します

温度表示部

設定した調理温度を表示します

連続スイッチ

時間設定なしで調理します
時間表示部にCOと表示されます

燃焼ランプ

バーナが燃焼している時、点灯します

設定時間スイッチ（延長）

設定時間を長くする

庫内実測スイッチ

スイッチを押している間、温度表示部に庫内の温度を表示します

設定温度スイッチ（下降）

設定温度を下げる

設定時間スイッチ（短縮）

設定時間を短くする

ソフトランプ

ソフト運転時、点灯します

設定温度スイッチ（上昇）

設定温度を上げる

ソフト入切スイッチ

ソフト調理の入り切りを行います

お願い

スイッチを押す時は、必ず手で操作してください。
また、濡れた手では操作しないでください。

ステップ調理スイッチ
ステップ調理を選択する時、押してください

メモリー調理表示部
メモリー調理選択時、メモリー No.を表示します（No. 1～9）

調理スタートスイッチ
調理を開始する時、押してください

ステップ調理ランプ
ステップ調理選択時、設定しているステップの点灯と調理しているステップの点滅でお知らせします
記憶を変更する時に表示している温度・時間のステップを点灯します

庫内灯スイッチ
庫内灯の入・切スイッチです

調理ランプ
調理運転中、点滅します

電源スイッチ
電源の入･切スイッチです

予 熱
連 続
ソフト 入／切
クーリング 入／切
調 理 スタート
停 止
ステップ
A B C
メモリー
8
変更確定
庫内灯 入 切
電 源 入 切

クーリングランプ
クーリング運転時、点灯します

戻るスィッチ
メモリー調理を選択時、押してください（ 1･9･8… 1の順に選択)
メモリーNo.と温度・時間が表示されます
ステップ調理の変更時、変更したいステップを選択します（A･C･B･A)
この時、選択中のステップランプを点灯します

変更確定ランプ
メモリー調理、ステップ調理の記憶変更時、点滅します

クーリングスイッチ
庫内を冷却する時、扉を開けてから押してください

変更確定スイッチ
メモリー調理・ステップ調理の記憶変更時、押してください
変更確定ランプが点滅します
温度・時間の変更終了後、もう一度押してください
記憶が確定されます

次へスイッチ
メモリー調理の選択時、押してください（ 1･2･3…9の順に選択)
メモリーNo.と温度・時間が表示されます
ステップ調理の変更時、変更したいステップを選択します（A･C･B･A)
この時、選択中のステップランプを点灯します

停止スイッチ
予熱・調理・ブザーを停止する時に押してください

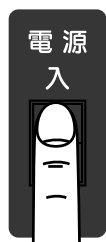
3 使用方法

●使用前の確認と準備

■確認

- 機器の近くには、紙・プラスチック・油類やスプレー缶など燃えやすいものが置いていないこと。
- 送風付暖房器具を使用される場合、温風排気ガスが直接機器に当たらないようにしてください。

■準備

- ガス栓を「全開」にしてください。
- 電源プラグを電源コンセントにきっちりと差し込んでください。
- 電源スイッチを「入側」に押してください。

温度・時間表示部に

温 度　　時 間

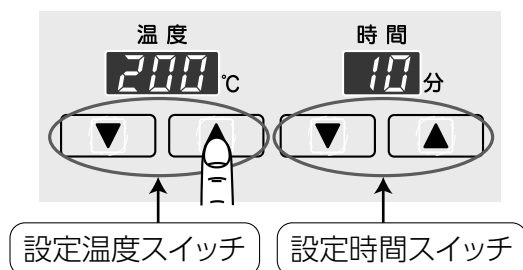
--- ℃　-- 分と表示されます。

●使用方法

1 調理温度と調理時間のセット

- 点火して設定温度になるまでの時間はおよそ表のとおりです。

目盛	オーブン庫内温度	時　間
100	約100℃	1～2分
150	約150℃	2～3分
200	約200℃	3～4分
250	約250℃	4～5分
300	約300℃	5.5～6.5分

- 設定温度スイッチ・設定時間スイッチを押しますと初期設定温度および初期設定時間が表示されます。

- 設定温度スイッチで温度を設定してください。50℃～320℃の間で5℃単位の設定ができます。
- 設定時間スイッチで時間を設定してください。1分～99分の間で1分単位の設定ができます。
  また連続スイッチを押すと設定時間なしで調理できます。この時、時間表示は「C0」です。

はじめてお使いのときは

- はじめてお使いになるときは
  ①庫内の加工油を焼ききるため320℃で20分程度から焼きをしてください。

  320℃・20分

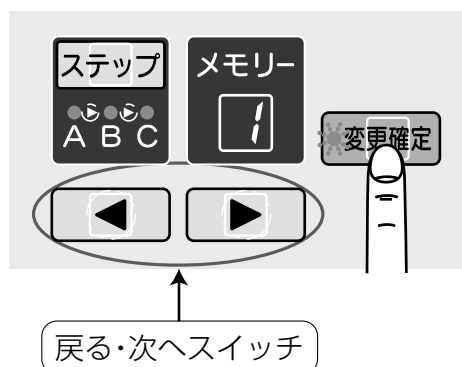
  この時、煙と臭いがでますが異常ではありません。

  ②オーブン皿・オーブン網などは中性洗剤で洗ったのちきれいな布で水気をふきとってください。

気をつけていただきたいこと

- タイマー設定が「0分」セットのときは、機器は点火しません。
  必ず1分以上のセットにしてください。
- 扉が開いていると予熱・調理がスタートしません。確実に閉めてください。

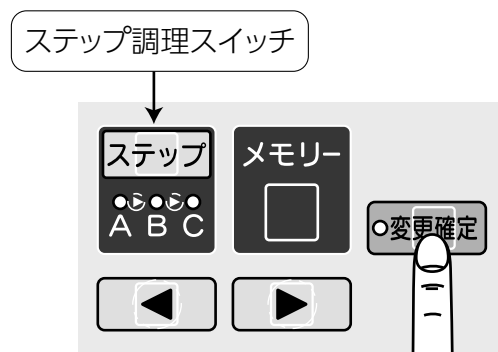
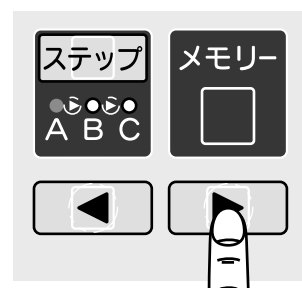
2 メモリー調理温度と調理時間のセット

- 戻るスイッチ・次へスイッチで記憶させるメモリーNo. を選択します。
- 変更確定スイッチを押すと変更確定ランプが点滅します。

- 設定温度スイッチ・設定時間スイッチで変更します。
- 他のメモリーを続けて変更するときは戻るスイッチ・次へスイッチで変更したいメモリーNo. を選択してください。
- 変更確定スイッチを押すと記憶します。このとき変更確定ランプとメモリーNo. が消灯します。
- これで電源スイッチを切っても温度と時間はメモリーNo. に記憶されています。

工場出荷時のメモリー調理温度と調理時間設定

メモリーNo.	温度（℃）	時間（分）
1	160	25
2	180	10
3	200	10
4	230	5
5	230	15
6	230	30
7	250	8
8	280	8
9	300	5

3 ステップ調理温度と調理時間のセット

- ステップ調理スイッチを押します。
- ステップ調理ランプが設定の数点灯します。

- 変更確定スイッチを押すと変更確定ランプが点滅し、ステップ調理ランプAが点灯します。
- 設定温度スイッチ・設定時間スイッチで変更します。
- 次のステップを続けて変更する時は、次へスイッチで変更したいステップNo. を選択してください。選択したステップのランプが点灯します。

- 次のステップが不要な場合は時間設定を「0」にしてください。

> ステップAは「0」に設定できません。

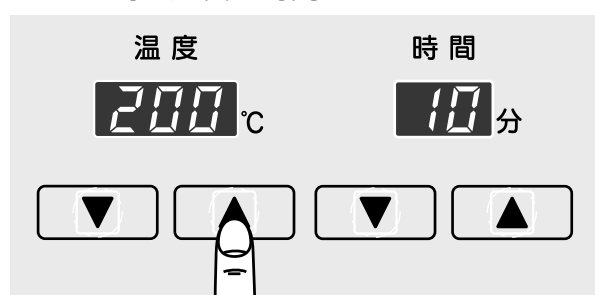
- 設定終了の場合は変更確定スイッチを押してください。ステップ調理ランプが設定の数点灯します。

●これで電源スイッチを切っても、温度と時間は記憶されています。

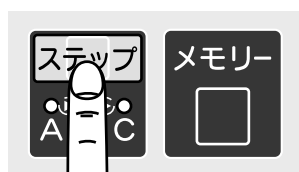
工場出荷時のステップ調理温度と調理時間設定

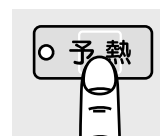
ステップ	温度（℃）	時間（分）
A	200	15
B	140	25
C	200	5

4 予熱完了後に調理を開始する方法

(1) 調理温度・時間をセットする

●調理温度・時間をセットします。

●メモリー調理の場合は戻るスイッチまたは次へスイッチを押してメモリーNo. を選択してください。
メモリーNo. が表示されます。

●ステップ調理の場合はステップ調理スイッチを押してください。
ステップ調理ランプが点灯します。

(2) 予熱する

●扉が完全に閉まっていることを確認し、予熱スイッチを押してください。

●予熱ランプが点灯し、機器が運転を開始します。
●庫内が設定温度に上昇すると、ブザーで約5秒間予熱の終了をお知らせします。
●予熱終了後も庫内を設定温度に保ちます。

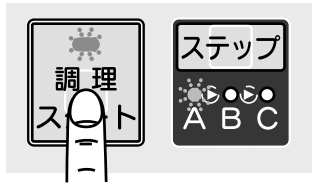
予熱ブザーが鳴っている間に扉を素早く開閉すると再度ブザーが鳴る場合がありますが異常ではありません。

(3) 調理を開始する

●調理材料を入れ、扉をきっちりと閉じ、調理スタートスイッチを押してください。
●調理スタートランプが点滅し、調理がスタートします。

●設定時間表示部は残り時間を表示します。
●調理中に扉を開けると、燃焼・ファン・調理タイマーは止まりますが、扉を閉めると再び運転を開始します。
●調理時間が「0」になると、調理完了ブザーが鳴り、運転が停止します。
●調理終了ブザーが鳴ったら材料を取り出してください。終了ブザーは停止スイッチを押すか、扉を開けると止まります。
●調理スタートランプが消灯し設定時間に戻ります。
※扉を開けて停止した場合は扉を閉めると戻ります。

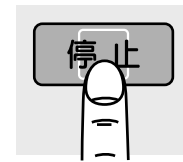
(4) ステップ調理の場合

- 調理スタートスイッチを押すと調理スタートランプとステップランプ A が点滅します。

- 設定温度表示部と設定時間表示部にステップ A の設定温度と時間が表示されます。

- ステップAが終了すると、ステップ調理ランプAの点滅がステップ調理ランプBの点滅に変わります。
  設定温度表示部と設定時間表示部にステップBの設定温度と時間が表示されます。

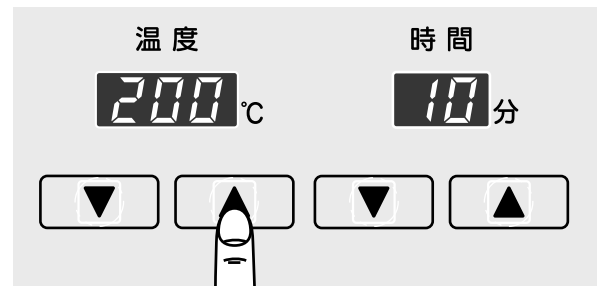
**2 ステップ設定の場合は
ステップ B が終了すると
調理終了ブザーが鳴ります。**

- ステップBが終了すると、ステップ調理ランプCが点滅し、ステップCの設定温度と設定時間が表示されます。

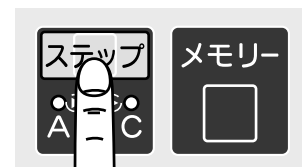
- 調理中に扉を開けると、燃焼・ファン・調理タイマーは止まります。引き続き使用する場合は、扉を閉めると再び残り時間から動き出します。
- ステップCが終了すると調理終了ブザーが鳴ります。
- 調理終了ブザーが鳴ったら材料を取り出してください。
- 終了ブザーは停止スイッチを押すか、扉を開けると止まります。

- 調理スタートランプが消灯しステップ調理ランプAの設定温度と時間に戻ります。

※扉を開けて停止した場合は扉を閉めると戻ります。

5 予熱なしで調理を開始する方法

(1) 調理温度・時間をセットする

- 調理温度・時間をセットします。

- メモリー調理の場合は戻るスイッチまたは次へスイッチを押してメモリー No. を選択してください。
  メモリー No. が表示されます。

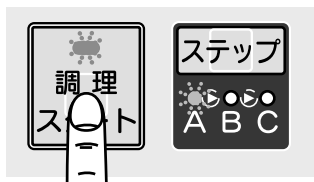
- ステップ調理の場合はステップ調理スイッチを押してください。
  ステップ調理ランプが点灯します。

(2) 調理を開始する

- 調理材料を入れ、扉をきっちりと閉じ、調理スタートスイッチを押してください。
- 調理スタートランプが点滅し、調理がスタートします。

- 設定時間表示部は残り時間を表示します。
- 調理中に扉を開けると、燃焼・ファン・調理タイマーは止まります。
  引き続き使用する場合は、扉を閉め調理スタートスイッチを押すと、再び動きだします。
- 調理終了ブザーが鳴ったら材料を取り出してください。終了ブザーは停止スイッチを押すか、扉を開けると止まります。
- 調理スタートランプが消灯し設定時間に戻ります。

※扉を開けて停止した場合は扉を閉めると戻ります。

(3) ステップ調理の場合

- 調理スタートスイッチを押すと調理スタートランプが点滅し、ステップ調理ランプ A が点滅します。

- 設定温度表示部と設定時間表示部はステップ調理ランプ A の設定温度と時間が表示されます。

- 調理材料を入れ扉をきっちり閉じ、調理スタートスイッチを押してください。
- 調理スタートランプが点灯し、ステップ調理ランプ A が点滅します。設定時間表示部はカウントダウンを開始し、残り時間を表示します。
- ステップ A が終了すると、ステップ調理ランプ A の点滅がステップ調理ランプ B の点滅に変わります。
  設定温度表示部と設定時間表示部はステップ B の設定温度と時間が表示されます。

2 ステップ設定の場合は ステップ B が終了すると 調理終了ブザーが鳴ります。

- ステップBが終すると、ステップ調理ランプCが点滅し、ステップCの設定温度と設定時間が表示されます。

- 調理中に扉を開けますと、燃焼・ファン・調理タイマーは止まります。引き続き使用する場合は扉を閉め、調理スタートスイッチを押しますと再び残り時間から動きだします。
- ステップ C が終了すると調理終了ブザーが鳴ります。
- 調理終了ブザーが鳴ったら材料を取り出してください。
- 調理スタートランプが消灯しステップ A の設定時間に戻ります。

6 ソフト調理方法

■乾燥を防ぎたい調理に使用します

- ソフトスイッチを押すとソフトランプが点灯し、非燃焼時にファンが止まります。
- 調理中・メモリー調理中・ステップ調理中でもソフトスイッチの入り切りは可能です。
（ただし，メモリー調理はソフト入切スイッチの入り切りはできません。）

7 連続調理方法

■ 99 分以上の調理時間の場合に使用します

- 調理時間設定の連続スイッチを押すと時間表示が「CO」となります。

- 調理スタートスイッチを押すと調理スタートランプが点灯し、連続調理がスタートします。
- 連続運転を停止する場合は停止スイッチを押してください。

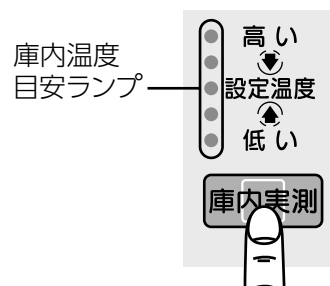
8 調理中の設定温度・時間の変更方法

- 調理中の温度・時間変更は可能です。
- 設定時間スイッチ・設定温度スイッチにて設定を変更してください。
- 調理終了後、温度は変更した温度で時間は変更前の時間で次の調理を待機します。
- メモリー調理の場合、調理中の温度・時間変更は可能ですが､変更した時点でメモリー調理から通常の調理に変わります。このときメモリー No. が消灯します。
- 調理終了後、温度は変更した温度で時間は変更前の時間で次の調理を待機します。
- ステップ調理の場合も、各ステップで変更は可能です。
- 庫調理終了後、温度・時間は記憶させている設定値に戻ります。

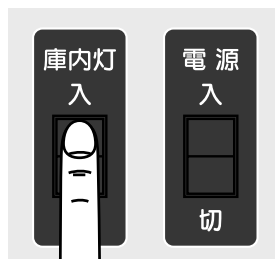
ステップ調理中の時間変更時の注意点

時間変更するために下げるスイッチを連続押しを続けますと、各ステップが「0」分になり調理がすべて終了する場合がありますので、時々指をスイッチから離して変更してください。

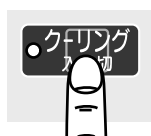
9 庫内温度の見方

- 庫内温度の目安は庫内温度目安ランプに表示します。

- 庫内温度を見る時は庫内実温スイッチを押してください。スイッチを押している間、庫内温度を表示します。(5℃単位)
- 手をスイッチから離すと設定温度表示に戻ります。

10 庫内灯の使い方

- 庫内灯スイッチを入側に押してください。電源スイッチを入れた状態でいつでも入り切りできます。
- 庫内灯は 3 箇所点灯します。

11 クーリングの使い方

■高温調理からすぐに低温調理にかえる時など庫内の冷却を早く行う時に使います

- 扉を開けてクーリング入／切スイッチを押してください。クーリングランプが点灯してファンが回ります。扉が閉まっていると作動しません。

- 止める時はクーリング入／切スイッチを押すか扉を閉めてください。クーリングランプが消灯してファンが停止します。

高温注意

熱風が排出されますのでご注意願います。
スイッチを入れた後、機器の前に立たないでください。

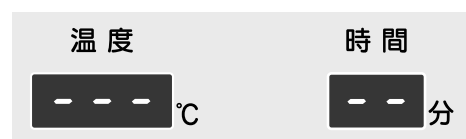
12 ご使用後

- 電源スイッチを「切」側に押してください。温度表示・時間表示が消灯します。

高温調理終了直後は電源を切らないでください。
クーリングで庫内を冷却してから切るか、10 分程度たってから切ってください。

- ガス栓を閉じてください。

13 停電について

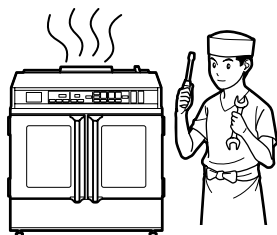
- 停電中は使用できません。
- 調理中に停電になった場合も機器は停止します。通電状態に戻ると機器の表示は電源スイッチを入れた時と同じ横棒表示になります。

- 途中で電源プラグを抜いたり、ブレーカーが働いた時も同じです。

●日常の点検とお手入れ

まず確かめてください。①ガス栓が閉まっている。
②機器が冷えている。
③電源プラグを抜く。

⚠危険

分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理改造は行わないでください。火災・ガス漏れのおそれや異常動作してケガをすることがあります。

⚠警告

感電注意

オーブン庫内の水洗いや、機器の水洗いは絶対にしないでください。ショート・感電・不完全燃焼のおそれがあります。

■点検

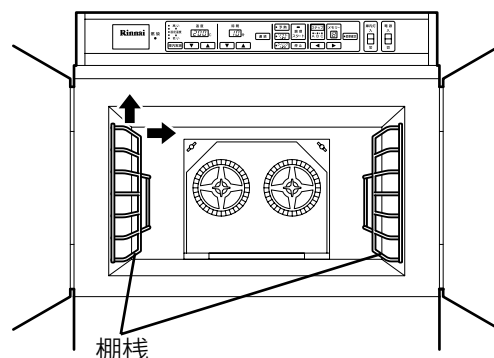
- ガス接続部や配管よりガス漏れがないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- 機器近くに、紙、プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置いていないか点検してください。
- オーブン庫内に多量の脂がたまっていないか、こびり付いていないかときどき点検してください。

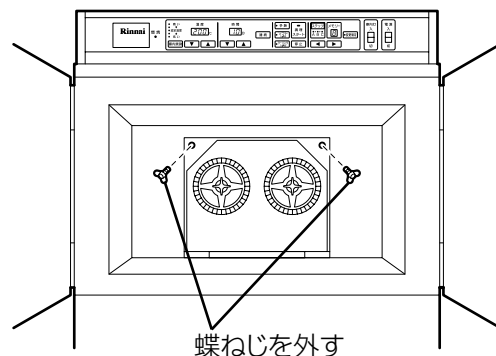
■お手入れ（お手入れの際は、けがをしないように手袋などをはめて行ってください。）

使っても良いもの	● 中性洗剤　● やわらかい布　● スポンジたわし ● オーブンクリーナー
🚫 使ってはいけないもの	● 酸性・アルカリ性の洗剤 ● みがき粉　● アルコール・シンナー・ベンジン ● 金属たわし・ナイロンたわし・ワイヤーたわし・金属へら

機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れをふき取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または当社事業所で新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

●棚桟

- 棚桟を少し上にもちあげながらはずし、中性洗剤で汚れを落としてください。

●バッフル板

- バッフル板を取り付けている２本の蝶ねじをはずして､バッフル板を持ち上げながら引き出してください。
- 中性洗剤にて汚れを取り除いてください。

●オーブン扉のガラス部分

- 中性洗剤やオーブンクリーナー等でお手入れしてください。
ワイヤーたわしやみがき粉などガラスに傷をつけるおそれの有る物は使用しないでください。

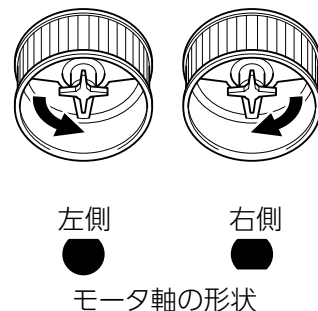
●外板

- 中性洗剤やオーブンクリーナー等でお手入れしてください。

●ファン

- ファンを手で押さえながら締付キャップをはずしてください。(右側のファンは時計方向、左側のファンは反時計方向に回してください。)
ファンを手前に引いてはずしてください。
はずれない場合は、付属のファン抜き金具を用いてはずしてください。
- 中性洗剤で汚れを落としてください。

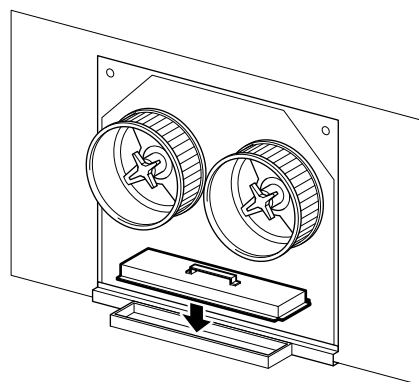
左側　右側

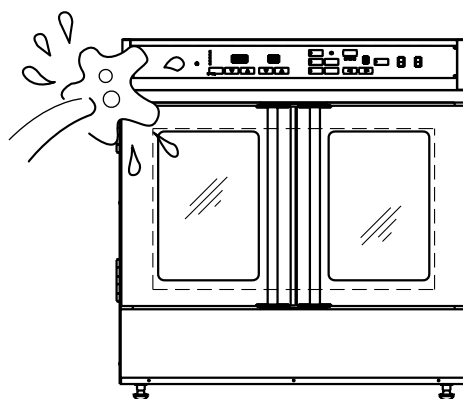
モータ軸の形状

●オーブン皿

- オーブン皿は、アルミ材にフッ素樹脂加工が施してありますので取扱いはつぎの点に注意してください。
- お手入れは、スポンジかふきんなどの柔らかい物を使用して中性洗剤で洗ってください。みがき粉やかたいたわし、金属製のヘラなどは使用しないでください。
- 汚れが付いたまま放置されますとフッ素樹脂がはがれることがあります。またフッ素樹脂は永久ではありません。
- 汚れが落ちにくい場合は、オーブン皿にお湯を入れ、市販の木べラや竹べラで汚れをこすり落してください。

気をつけていただきたいこと

- 庫内の水洗い時は必ずバッフル板を取りはずして排気口蓋を取り付けてください。

排気口蓋を取り付けずに水洗いしますと機器の寿命が短くなります。また不完全燃焼のおそれがありますので、必ず排気口蓋をしてから水洗いを行ってください。
またファンは付けたままで水洗いを行ってください。

- お手入れの際はけがをしない様に手袋をはめてください。
- 水洗いを行った後はふきんなどで水分を拭き取ってください。

本体外板（特に天板）には水をかけないでください。電気部品がショートして機器が動かなくなります。

■お手入れの後は

- お手入れの後は排気口蓋をはずし、バッフル板を元の位置に取り付けてください。
またオーブン棚網・棚桟・油受皿も元通り取り付けてください。

■消耗部品について

- 消耗部品はお買い上げの販売店か当社事業所でお買い上げください。

※詳しくは、25 ページを参照してください。

4 困ったときは

●故障や異常の見分け方と処置方法

機器および使用方法に不具合があった場合は、自動的に動作を停止しブザーで異常をお知らせします。
この時、設定時間表示部に故障表示を表示します。

⚠警告

使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止し、①あわてず、ガス栓を閉める　②電源プラグ抜く

■故障表示と内容

表示	内　　容	処　　置
00	●予熱モード連続使用異常	予熱を連続して 90 分以上使用する場合表示します。
10	●連続燃焼異常	庫内の食品の量を減らして再操作してください。 再度同じ状態になる場合は、点検を依頼してください。
11	●ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にし、再操作してください。 再度同じ状態になる場合は、点検を依頼してください。
12	●途中失火	ガス栓を閉め、電源プラグを抜いて、使用を中止し、点検・修理を依頼してください。
14	●冷却ファンの故障	
24	●調理スタートスイッチの短絡故障	
30	●温度センサー故障	
61	●循環ファンの故障	
70	●電子回路の故障	
72	●炎検知回路の故障	

●故障表示の「11」「12」の場合は停止スイッチを押して故障表示を解除してから再操作してください。
●再操作しても故障表示が点滅する時は、お買い上げの販売店か当社事業所に修理を依頼してください。
その際は表示されている故障表示もお知らせください。

■注意表示と内容

表　　示	内　　容	処　　置
「発酵」調理時、温度表示部が点滅する。	庫内温度が「発酵」調理に適さないくらいの高温になっている。	強制冷却運転にて、庫内を強制冷却してください。または庫内温度が下がるまでお待ちください。
調理中に、温度表示部・時間表示部が点滅する。	コントロール部の温度が異常に高くなっている。	吸気ギャラリー部や排気口がほこりや油等により塞がっていないか確認してください。吸気ギャラリー部や排気口のほこりや油等を取り除いても、同じ表示が出るときは、点検・修理を依頼してください。

■次のような場合は、故障ではありません。

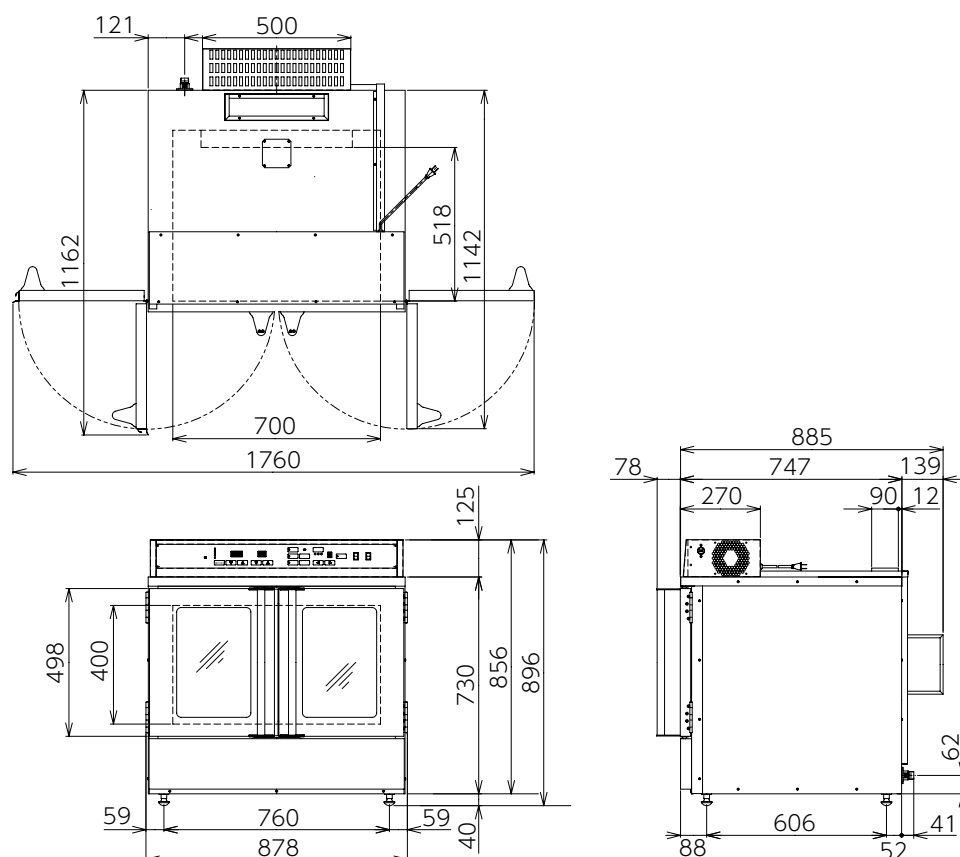
こんなときに	理　　由
温度・時間表示が--- --になっている	停電後、再通電すると温度・時間表示が--- --になります。機器運転時電源入りと同じ状態です。
ファンが回らないのに故障表示がでない	時間設定が0分になっているか、扉がしまっていない、または扉を閉めた状態でクーリングスイッチを押した場合です。ご使用方法を参照してください。
メモリー運転記憶ができない	変更確定スイッチを変更前と変更終了時に押していますか。
点火後や消火後にキシミ音が出る	オーブン本体などが加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音で故障ではありません。

●頻繁に発生する時や使用方法が正しくても発生する場合は、お買い上げの販売店か当社事業所に修理を依頼してください。

●仕様

形式の呼び	RCK-30MA
品名	ガス高速オーブン（コンベック）
点火方式	電気スパーク方式
外形寸法	高さ896㎜×幅878㎜×奥行964㎜（取っ手まで78㎜含む）
庫内有効寸法	高さ400㎜×幅700㎜×奥行518㎜
オーブン皿寸法	高さ24㎜×幅410㎜×奥行262㎜
質量	140kg（付属品を除く）
ガス接続	20A（R3／4）
電源	AC100V（50Hz－60Hz共用）
消費電力	277／300W
安全装置	立消え安全装置・過熱防止装置
付属品	排気口蓋（1個）、油受皿（1枚）、オーブン棚網（4枚）、オーブン皿（8枚）、オーブン皿取っ手（1個）、ファン抜き金具（1個）、取扱説明書〈保証書付〉（1冊）

ガスグループ（ガス種）			1時間当たりのガス消費量
都市ガス用	L3	(4A・4B・4C)	21.5kw
	L2	(5A・5AN・5B)	23.8kw
	L1	(6B・6C・7C)	22.7kw
	5C		22.1kw
	6A		23.3kw
	12A		22.7kw
	13A		24.4kw
LPガス用			23.4kw

●外形寸法図 (単位：mm)

●交換部品

消耗部品はいたんできたら交換してください。お求めの場合は、当社消耗部品・お手入れ品の販売サイトR.STYLE (http://www.rinnai-style.jp/) または、お買い上げの販売店にてお求めください。

部 品 名 ・ 品 名	部品番号・品名番号	希望小売価格（税込）
オーブン皿	074-017-000	¥4,200
オーブン棚網	056-030-000	¥2,835
棚桟（左）	073-045-L00	¥2,100
棚桟（右）	073-046-R00	¥2,100

当社消耗部品・お手入れ品の販売サイト（R.STYLE）では、上記以外の消耗部品やお手入れ品などを幅広く取り扱っております。本製品の交換部品は、お客様自身でお取り替えできる部品が対象です。

当社製品の消耗部品･お手入れ品をインターネット販売サイトよりご注文いただけます。
http://www.rinnai-style.jp/

●長期間使用しない場合

各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分にはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

●アフターサービス

■サービス（点検・修理）を依頼される前に

- 「故障や異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえそれでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店か、当社事業所にご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

①品名・ガスの種類
②形式の呼び（銘板表示のもの）
③故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
④ご住所・建物名・部屋番号・お名前・電話番号・道順
⑤訪問ご希望日

■転居または機器を移設される場合

⚠警告

ガスの種類が異なる地域へ転居または移設される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社にご相談ください。

- 転居、移設にともなう、調整・改造の費用は、有料となります。
ただし、ガスの種類によってはできない場合もあります。

■保証について

- 裏表紙が保証書になっています。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください。）
- 必ず、「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みください。保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合があります。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店か、フリーダイヤルにご連絡ください。
（別添の「連絡先一覧表」を参照してください。）

リンナイフリーダイヤル
0120-054-321

■お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

リンナイ コンベック 保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から１年間とし、機器本体を対象とします。
   保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。
   ただし、消耗部品は、保証の対象ではありません。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、別添の「連絡先」一覧表をご覧の上、お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所にご相談ください。
4. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
5. 保証についての規定は下記をご覧ください。

見本

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   (ニ) 車両、船舶への搭載に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 本書の提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
   (ト) 指定外の燃料及び使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
   (チ) ご転居などによる熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan
   ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別添の「連絡先」一覧表をご覧の上、お近くのリンナイ支社・支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
   ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年　　月　　日		
販　売　店　名		扱者印	
住　　　所			
電　話　番　号			

修理記録

年　月　日	修　理　内　容

お客様へ
この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社
〒454-0802　名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表　052（361）8211

TRCK30MA-01X05（00）
11.11 ◎
06000004764750